

手をつなごう2008

平成20年7月14日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 8



コーディネーター講座② 奥田先生をお迎えして

7月10日、第2回目のコーディネーター講座を桜花学園大学の奥田健次准教授をお迎えし開催しました。奥田先生は日本国内はもちろん、海外でもご活躍の先生です。そんなお忙しい先生に一地域の研修会にお出でいただくなんて…と思いながらも厚かましくお願いしたところお

引き受けくださり、わざわざ名古屋から駆けつけてくださいました。

今年は「事例を通して応用行動分析を学ぶ」という趣旨で、4回連続の講座として計画しました。です。1回目の「応用行動分析の基礎理解」に続き、今回からはいよいよ事例を通しての研修です。

まず事例について報告した後、グループに分かれて検討し、最後に奥田先生からお話をいただきました。インパクトのあるお話で、「1時間半ではもったいない！もっとお話が聞きたい！」というのが正直な感想でした。次回がとても楽しみです。受講者の皆さんの感想をご紹介します。

アンケートより

- 今までの考えをくつがえされた感じがしましたがとても聞きやすい話でした。
次回を楽しみにしています。
- 胸がスカッとしました。
- 保育の中で「理解していない」「わかっていない」と思っていることが多いことを改めて感じ、凝り固まった考え方を变えるのは難しいと思いますが意識していきたいと思います。
あっという間に時間が過ぎ、もっとお話が聞きたかったです。
- 「集団の中にいてほしい」という思いがあるから…という先生の言葉に自分自身がドキッとしました。そして自分が担任している子のことを思い描きながら自分を振り返って明日から循環論を少しでも頭から離していけるように努力していこうと思いました。
- 有効であると思いがちな視覚支援も子どもによっては無意味であったりよくない行動を強化してしまっていたりなどいろいろと考えることが多かったです。
- 自分の中にない発想で、もっとお話をお聞きしたかったです。
- 「泣く、わめく」を止めることよりも、もっと大事なものと痛感しました。
頭を柔軟にし、生きていくのに必要なものからしばってやるのが大切だと思いました。
次回の講座が楽しみです。

公開講座のお申し込み ありがとうございました

講座1： 1 2 9 名
講座2： 2 1 1 名
講座3： 2 7 5 名
講座4： 3 1 7 名

計 9 3 2 名ものお申し込みをいただきました。

昨年の853名を越えるお申し込みで、関係者一同張り切っています。講座1は会場が本校のため、これ以上はお受けできませんが、2～4についてはまだ会場にゆとりがありますので、どうぞお申し込みください。